

ニュースリリース

2019年8月16日
株式会社ナンゴ

小規模事業者もSDGs 取得の時代に突入

金属機械加工業の株式会社ナンゴ（京都府宇治市 代表取締役 南郷 真）が取組を行っているSDGs 事例が、この度、外務省が運営しているJAPAN SDGs Action Platform に、厳選なる審査及び手続きを経て、掲載されました。



<https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sdgs/about/index.html>

■持続可能な開発目標(SDGs)とは

2001年に策定されたミレニアム開発目標(MDGs)の後継として、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2016年から2030年までの国際目標です。持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さない(leave no one behind)ことを誓っています。SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル(普遍的)なものであり、日本としても積極的に取り組んでいます。(外務省HPより引用)

■17のゴール目標(下記抜粋)

【8、働きがいも経済成長も】



＜仕事を通じて私たちは向上する＞経営理念から経済成長へと繋がる経営。自己研鑽への全面的なサポートと社内コミュニケーションの充実による自律的取組の支援が評価され、厚生労働省の「グッドキャリア企業アワード 2018/イノベーション賞」を受賞。

【9、産業と技術革新の基盤を作ろう】



株式会社ナンゴーが運営する金属加工ソリューションサイト「中途半端 net」が、北海道～九州まで全国の「中途半端な加工内容・数、追加工品など、製造現場での「中途半端で困った…」を解決。安心をお届けするため、全数・全箇所検査を基本に品質検査を実施。また、素晴らしい技術を持った加工職人のネットワークを所有している。

【12.つくる責任、つかう責任】



<1000年続く企業を目指して> 匠の技と最先端技術を駆使する金属を熟知した職人による、小ロットの試作分部品加工案件～大型開発試作案件に対応。

独自の生産管理システムによる責任ある対応力で、常に、お客様の利便性向上を追求。各種コンテストや認定等、積極的な参加で、更なる技術の革新を目指している。

(株)ナンゴーでは、17のゴールに向かい、SDGsを通じて、豊かで活力ある未来を創ることを誓っています

■株式会社ナンゴー

【宇治市】において、創業当時より(1973年創業)自動車産業に関わり、今では、特許技術「ステレオグラム表示体及びその製造方法」(微細切削技術ナンゴー彫り)を開発するなど、技術力に富んだ金属機械加工業社です。創業者である南郷康男から、経営のバトンを引き継いだ(2005年10月)南郷真(現、代表取締役)が、製造業の現場力に加え、知恵を生かした経営を行うことで、「中小企業でもココまでできる!!」、「中小の星!」と、中小企業の手本となるよう、経営理念でもある、We Improve!!の精神で、向上し続けている会社であります。

少人数ではあるものの、京都議定書の発祥地京都から発信された「環境マネジメントシステム」KES認証、「事業継続力強化計画」BCPの策定、SDGsの取組、また、数々の認定や受賞を得ています。また、設置数が不足しているAEDを、社員の為だけでなく、近隣住民や付近を通りかけられた方の緊急事態の対応にも御利用頂けたらと一早く設置するなど、積極的に社会貢献にも力を入れています。

これからは、経営理念や実行計画をSDGsという新しい指針で発信することにより、社会に貢献する企業として評価が高まるのではと、期待が広がっています。

<本件に関するお問い合わせ先>

株式会社ナンゴー URL: <http://www.nango-kyoto.co.jp>

営業部 企画チーム

電話: 0774-28-3141 FAX: 0774-20-4652 E-mail: office@nango-kyoto.co.jp